

Illustrator アルバム編集マニュアル

当社ではご希望のお客さまにレイアウトデータ（以下プレゼンデータ）を提供しております。

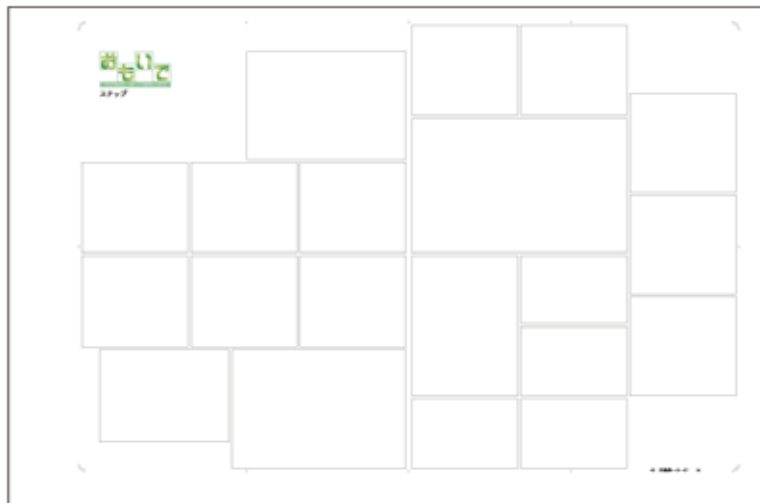
当社プレゼンデータはすでに矩形やタイトル、背景などが入ったデータです。

レイヤーは画像・トンボ・文字・背景などに分かれているデータになっています。

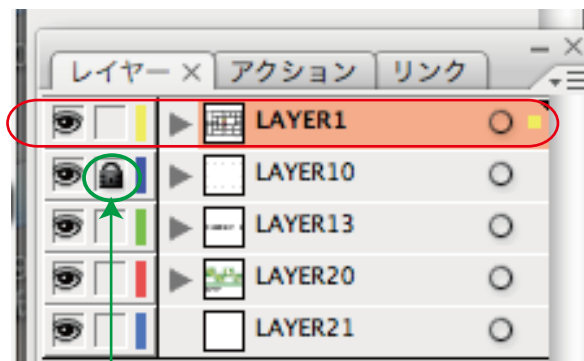
ここでは、そのプレゼンデータを利用した編集方法をご紹介します。

★画像をレイアウトしていきましょう★

- 1) プレゼンデータを開きます。保存形式 ai、Ver.8、カラーモードは CMYK でデータが作成されています。
編集する際は、**画像はRGB**で埋め込み不可、**他のオブジェクトのカラーモードはCMYK**で制作してください。
※レイヤーの順番は変えることができます。変えたいレイヤーをクリックしたまま移動します。



プレゼンデータのレイヤー構成です

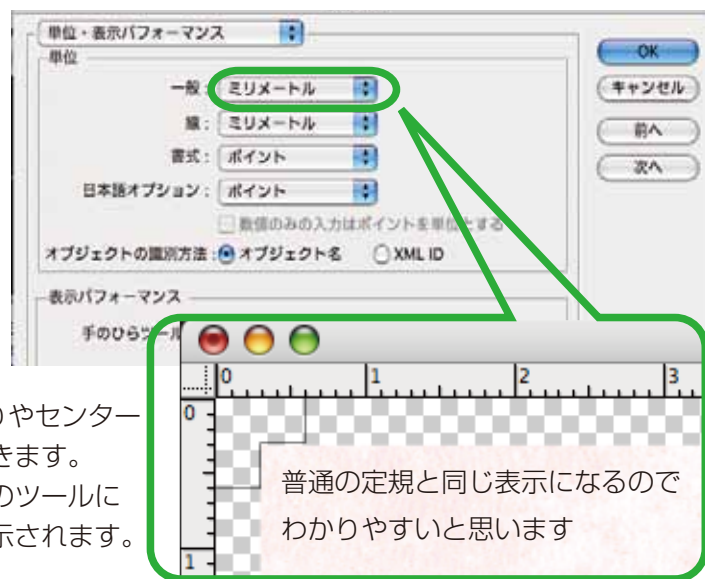
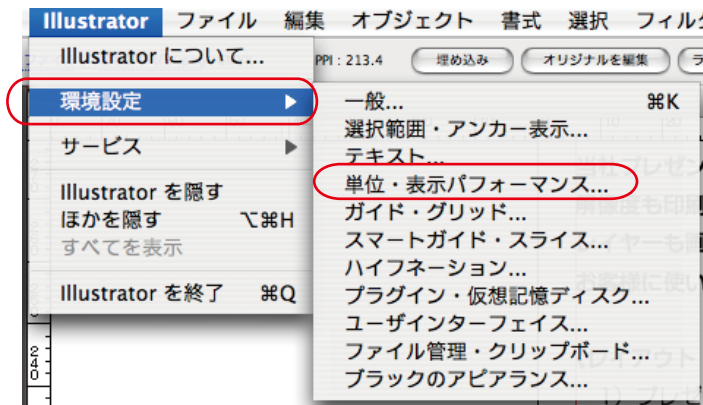


さわりたくないレイヤーにカギをかけると余計なものが選択されません

レイヤー 1		画像配置
レイヤー 10		トンボ
レイヤー 13		学校名の表記
レイヤー 20		タイトル文字
レイヤー 21		背景パターン

- 2) 表示から「定規」を選択します。画面の周りに定規が表示されます。

※定規の設定はイラストレータの環境設定で自由に設定できます。使いやすい設定に変更して使用してください。



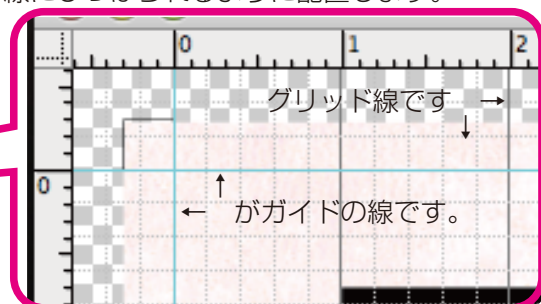
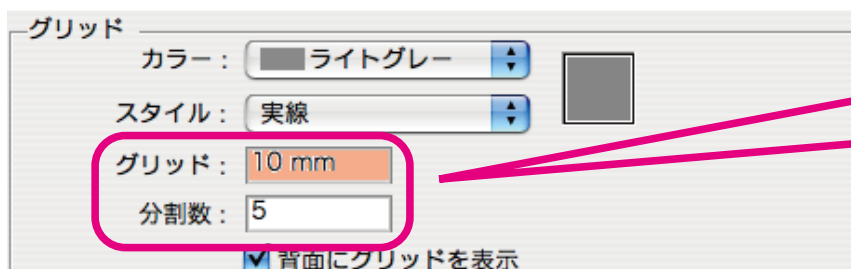
- 3) 定規の表示ができればガイドやグリッドを使って仕上がりやセンターの位置を表示させておきましょう。出来上がりの予想ができます。

※ガイドは上か左の定規が表示されている所から  このツールに変えてからクリックしたまま移動します。水色の線が表示されます。この線がガイドの線になります。

※グリッドは環境設定での数字入力になります。（定規の設定をした場所でします。）

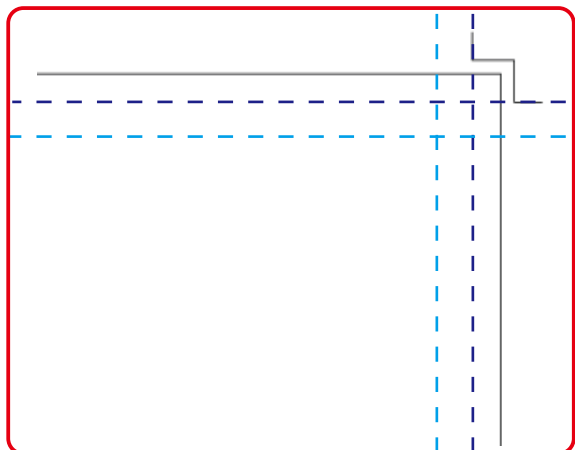
環境設定→ガイド・グリッド…を開きます。グレー色の太い実線と 2mm 間隔の破線ができました。

（表示のさせ方は「表示→グリッドを表示」で表示されます）グリッドやガイドに吸着させながら配置したい場合は「表示→グリッドにスナップかポイントにスナップ」に設定するとその線にひっぱられるように配置します。



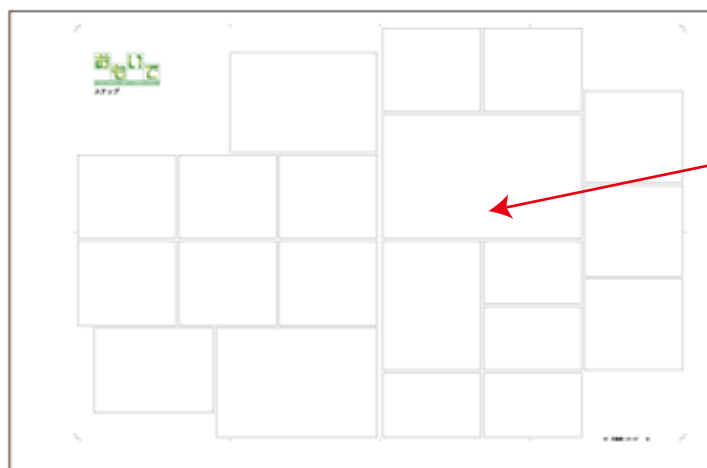
〈イラレ レイアウト：スナップ 1〉

※仕上がり（青線）、仕上がりからの余白 4mm（水色線）、センター（アルバムの折り目）の場所にもガイドをひいておきましょう



※当社では裁ち落とし部分は余分 3mm 必要です。
余白を入れる場合は仕上がりから 4mm 内側に配置する決まりがあります。センターは顔がからないようにするため、初めにガイド線を引いておく目安になります。

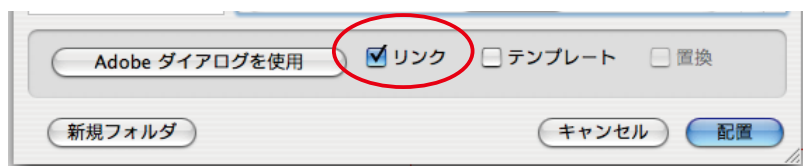
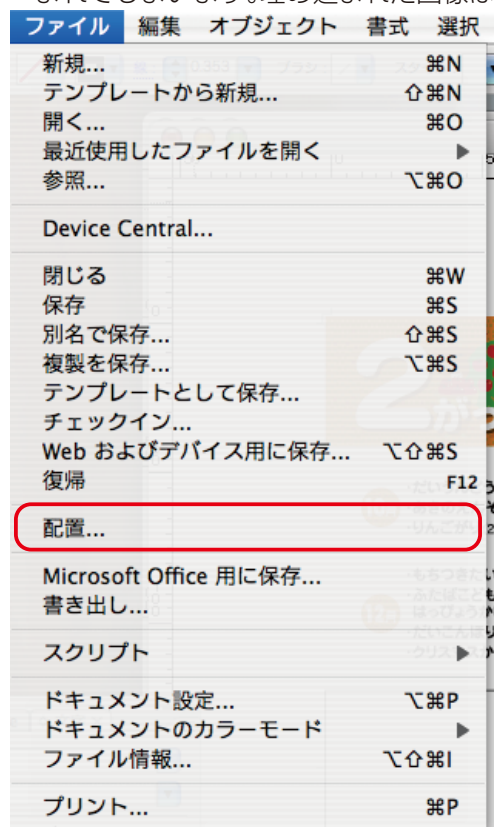
4) プレゼンデータにレイアウトしたい画像データを配置します。（解像度 350dpiに変更済の保存したデータ）



イラストレータの画像配置の保存形式は
1.TIFF 2.EPS 3.JPGのいずれかで保存をお願いします。
◎EPS保存はTiff/8bit バイナリ形式で保存をお願いします。
◎TIFFの場合は圧縮なしで保存してください。
◎JPGは350dpiにリサイズして保存してください。
※劣化の少ないデータをご用意ください。

5) 「ファイル→配置」を選択します。配置したい画像を選択します。

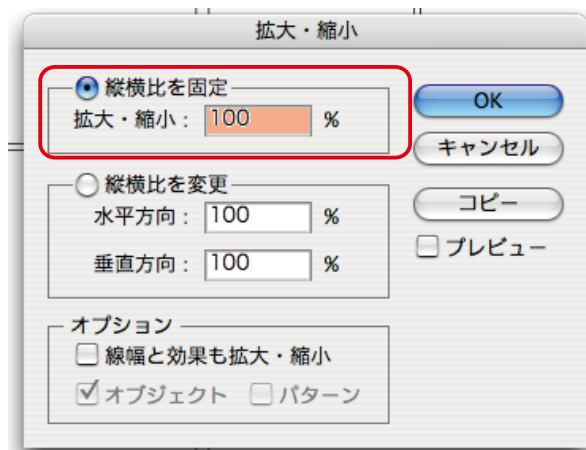
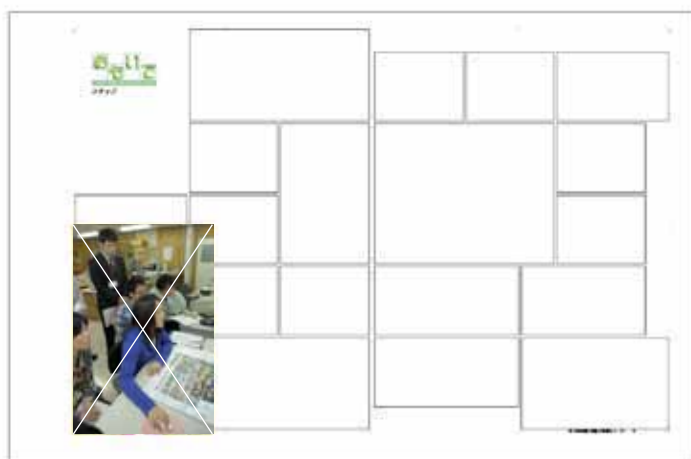
※配置画像を選択したときには必ず『リンク』のチェックを入れてください。このチェックが外れていると画像が埋め込まれてしまいます。埋め込まれた画像は色の微調整ができなくなりますので、必ずチェックをいれて画像を配置してください。



リンクのチェックを入れないと画像が埋め込まれている状態となり、リンクパレットの右にこんなマークがつきます。

6) 画像のトリミングをしましょう。配置した画像を矩形内にあてはまるように大きさを変えます。

拡大縮小ツール  をダブルクリックするとウィンドウができます。数値を入力します。

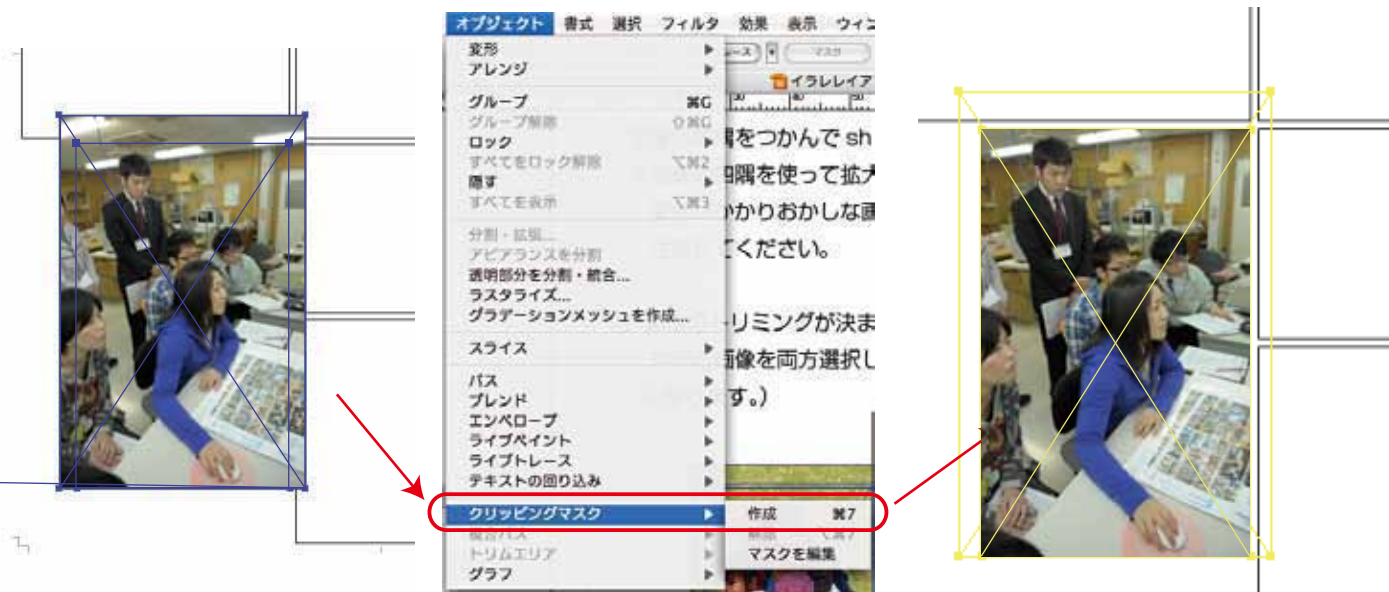


画像の角をつかんで shiftキーを押しながら変えることもできます。やりやすい方で作業をしてください。

※画像の角を使って拡大縮小する場合は必ず shiftキーを押しながら動かしてください。shiftキーを押さずに動かすと画像に変倍がかかりおかしい画像になってしまいます。拡大率も200%以上してしまうと画質が悪くなってしまいますので、注意してください。

7) 画像のトリミングが決まったらマスクをかけます。

「オブジェクト→アレンジ→最背面へ」で画像を矩形の背面に移動します。矩形と画像を両方選択し「オブジェクト→クリッピングマスク→作成」でマスクがかかります。(画像が矩形の大きさになります。)



※再度トリミングを修正したい場合はダイレクト選択ツールで  画像を選択し、拡大縮小します。

8) 4~7の作業を全ての矩形に対して行います。画像配置終了です。

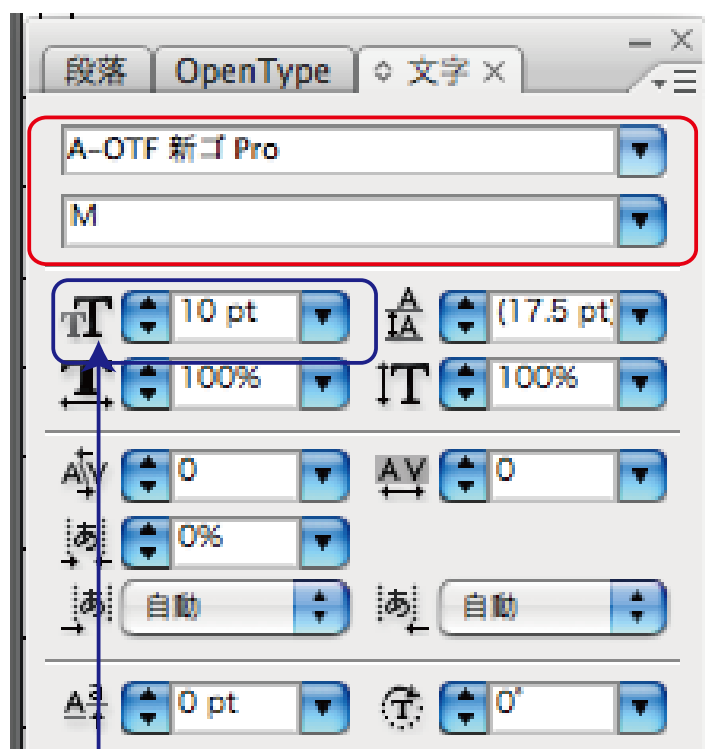


9) 文字を修正したい場合は文字のレイヤーに入れてください。修正したい文字を文字ツール  で入力します。

文字パレットを表示させたい場合は「ウィンドウ→書式→文字」で文字パレットが表示されます。

文字パレットで書体の変更や大きさの変更などができます。

※書体を統一してください。当社書体は「博進堂ゴシック W3」を使用しています。書体を差し上げることはできませんので、似た書体で修正をするか、全てのページを打ち直していただくかのいずれかになります。



文字の大きさを変更できます



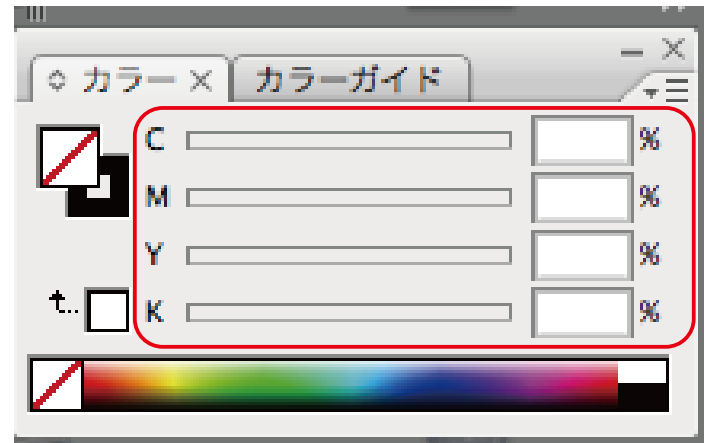
文字の種類を変更できます
お持ちのパソコンによっても種類が違います。
どんな種類の文字があるのか色々変更
してみるとわかります。

10) 文字の入力をし、確定したら文字のアウトラインをします。「書式→アウトラインを作成」



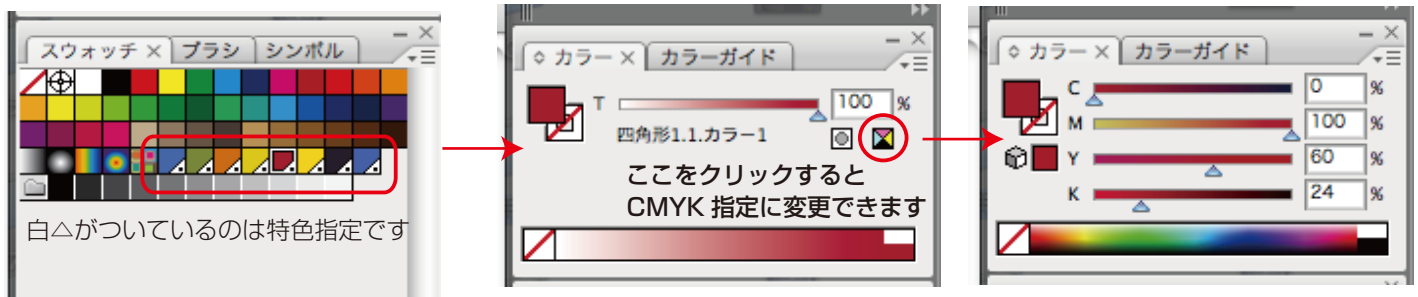
※文字のアウトライン作成処理をしないと当社ではパソコン環境が違うため同じ表現ができなくなります。必ずアウトライン処理をしてください。

アウトライン後は文字修正はできなくなりますので、間違いなどよく確認した上でアウトライン処理を行ってください。文字の色指定は CMYK 指定にしてください。書類のカラー設定がRGBそのままでは、文字の指定をCMYKにしてもRGB指定に変わってしまいます。カラーモード設定は当社プレゼンより変更されないようお願いいたします。



※色指定はCMYKの数値を入力するかスウォッチを選ぶなどして色を指定していきます。

スウォッチで選んだ場合は特色指定が混ざっているので注意してください。(特色の色指定をすると名前がつきます。そのままですと4色の他に特色の名前の色ができます。4色刷り+特色1版という形になりますので、色指定がめけた状態で印刷される可能性があります。) **特色指定は CMYK 指定にしてください**



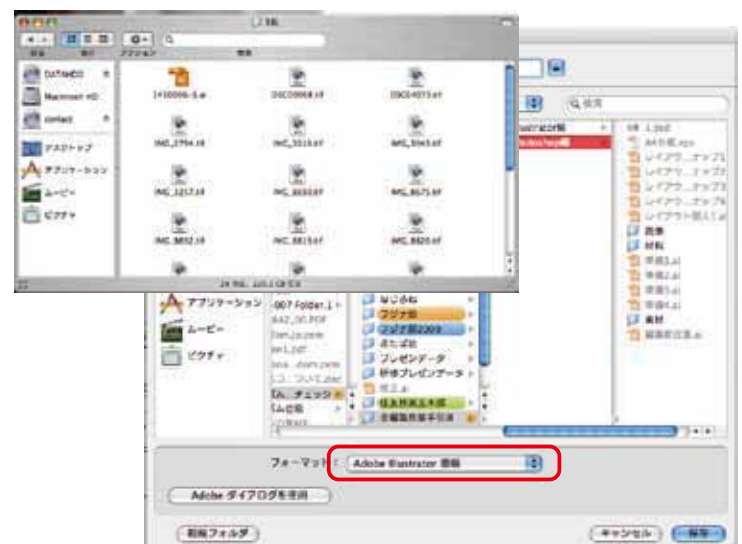
11) ai 形式で保存します。

リンク画像も一緒にいれてください。
ただし、きちんとフォルダ分けをしてください。

12) 出力紙は A4 サイズでかまいませんので出力をお願いします。

(当社でデータをチェックする際、見比べるものが無いと判断に困るためです。)

13) メディアに出来上がった ai とリンク画像データを書き込み、出力紙とともに当社にお送りください。



ご入稿前のデータチェック項目

不備があると印刷ができない項目

 Photoshop  Illustrator  InDesign

※ご使用のソフトでチェック項目が違います。✕がついている場合はチェック不要です

   ☐ 台紙サイズが正しいですか(トンボが入っていますか)

   ☐ 文字のアウトラインがとられていますか

   ☐ カラープロファイルが埋め込まれていますか

   ☐ 印刷時に不要なレイヤー・オブジェクトは残っていませんか

   ☒ ☒ ☐ 画像解像度が350dpiになっていますか

   ☒ ☐ ☐ カラーモードがCMYKになっていますか

   ☒ ☐ ☐ リンク画像が全て揃っていますか(※パッケージでリンク画像の不足を防ぎましょう)

   ☒ ☐ ☐ リンク画像の画像解像度、データサイズに問題はありませんか

   ☒ ☐ ☐ 画像が埋め込みになっていませんか

   ☒ ☐ ☐ 特色が指定されていませんか

   ☒ ☐ ☐ 矩形(マスク)の塗りが透明になっていますか

編集時に見落としやすい項目

☐ 文字のフォントや大きさが統一されていますか

☐ 切れてはいけない写真・文字が仕上がり線から4ミリ内側に配置されていますか

☐ 仕上がり線に接する写真や背景は仕上がり線から2ミリ以上外側に塗り足されていますか

☐ 写真のエッジ(回転での欠け)が出ていませんか

☐ 同じ写真を使用していませんか

☐ 写真と写真の間隔(セパレーション)は揃っていますか

☐ 仕上がり線やセンターに顔や文字がかかっていますか

☐ ぼかし影や色フチなどの効果が統一されていますか

☐ 学校様、保護者様からのクレームが発生しそうな写真はありますか
(中指を立てた生徒様が写っていたり、下着が見えている写真など)